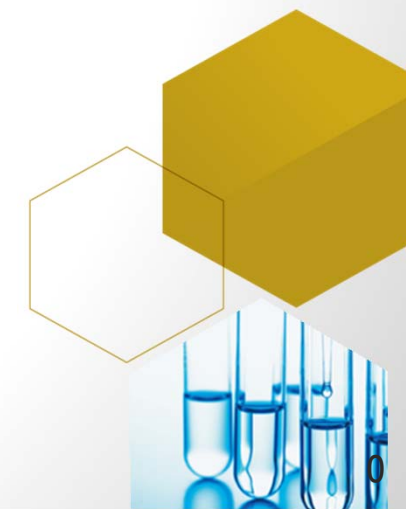
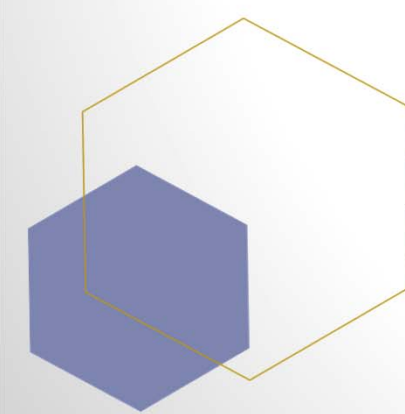



2018年3月期 決算説明資料



 日本高純度化学株式会社

証券コード: 4973

2017年7月24日



決算の概況

2018年3月期 第1四半期の概況

電子部品業界の状況

- 前事業年度下期に回復したスマートフォン向けの半導体や電子部品の需要が引き続き順調に推移したことから、前年同期と比較して好況に恵まれた。

当社決算の概況

- マザーボード用金めっき薬品およびマイクロコネクタ用硬質金めっき薬品はハイエンドスマートフォンに留まらず、中国向けスマートフォンの旺盛な需要にも支えられて好調に推移した。
- 実装部品向けのリードフレーム用パラジウムめっき薬品についても好調に推移した。
- これらの主要薬品の需要回復に伴い、一昨年同期と同等の水準まで業績が回復した。

2018年3月期 第1四半期決算概況

(単位:百万円、%)

	2017/3期 1Q	2018/3期		2018/3期予想	
		1Q	増減率		達成率
売上高	1,783	2,360	32.4	8,470	27.9
営業利益	158	265	67.3	940	28.2
経常利益	202	312	54.6	1,030	30.4
純利益	146	221	50.8	730	30.3
1株当たり 当期純利益	25.24円	38.51円	—	127.08円	—

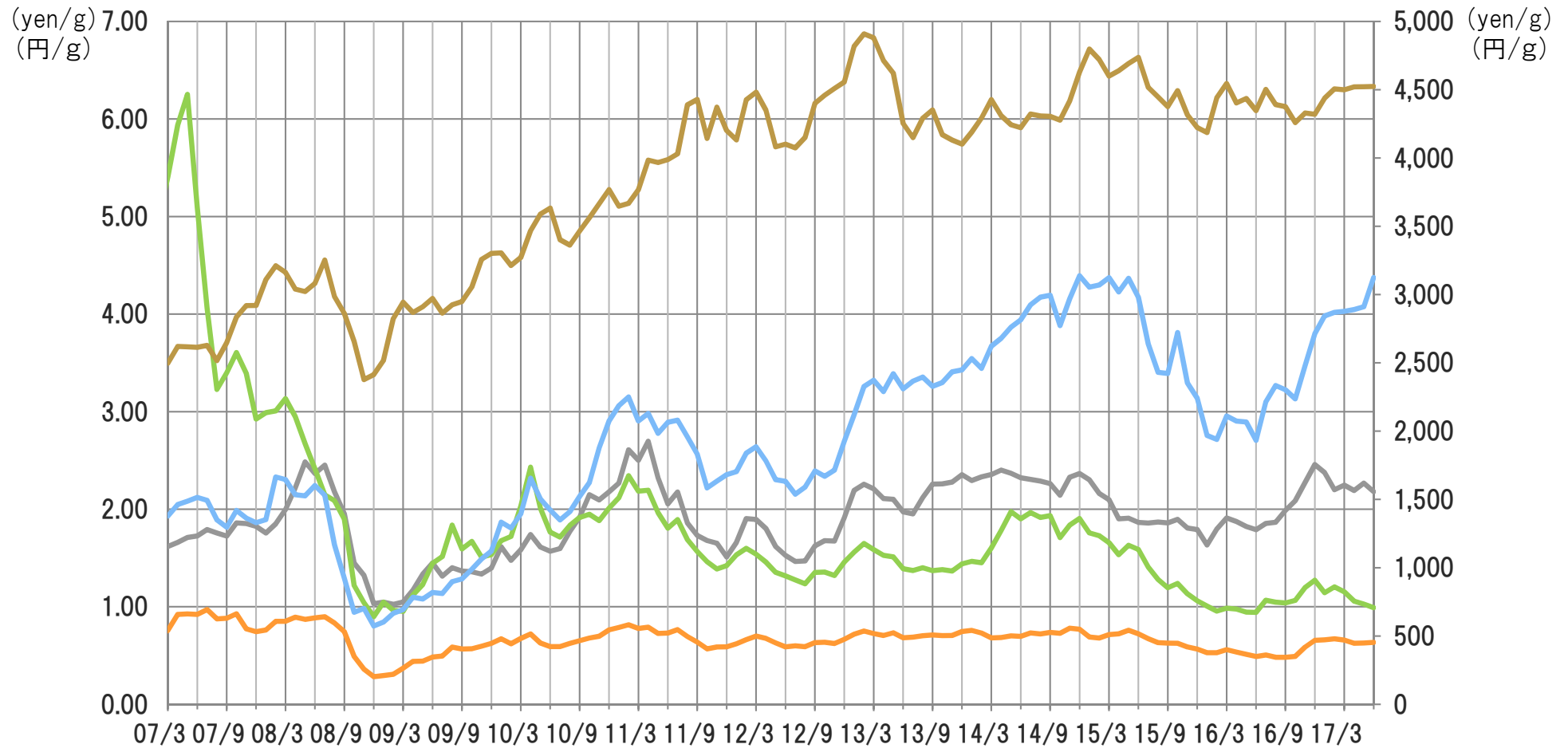
メタル相場推移

Prices of copper, tin and nickel
銅、スズ、ニッケル価格

■ Copper 銅
■ Tin スズ
■ Nickel ニッケル

Prices of gold and palladium
金、パラジウム価格

■ Gold 金
■ Palladium パラジウム

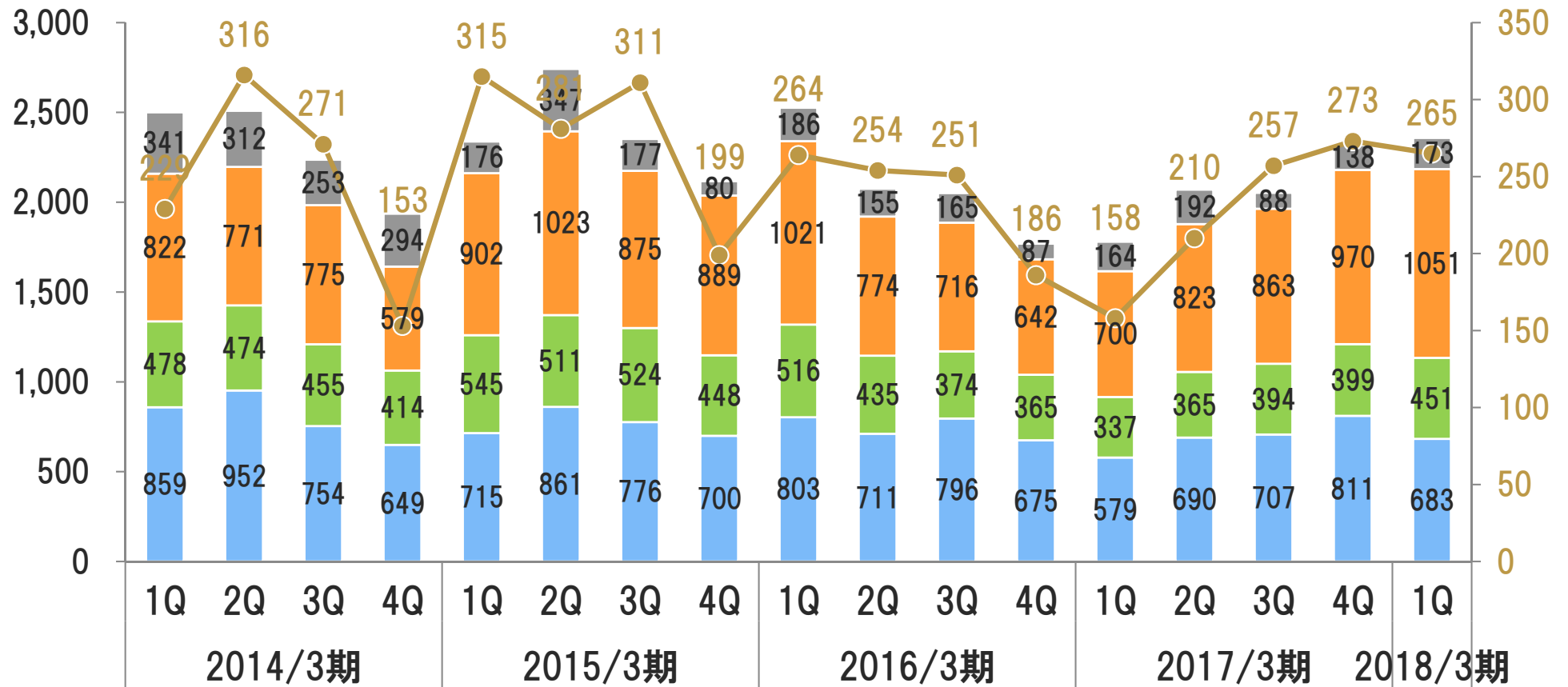


売上高・営業利益の推移(四半期ベース)

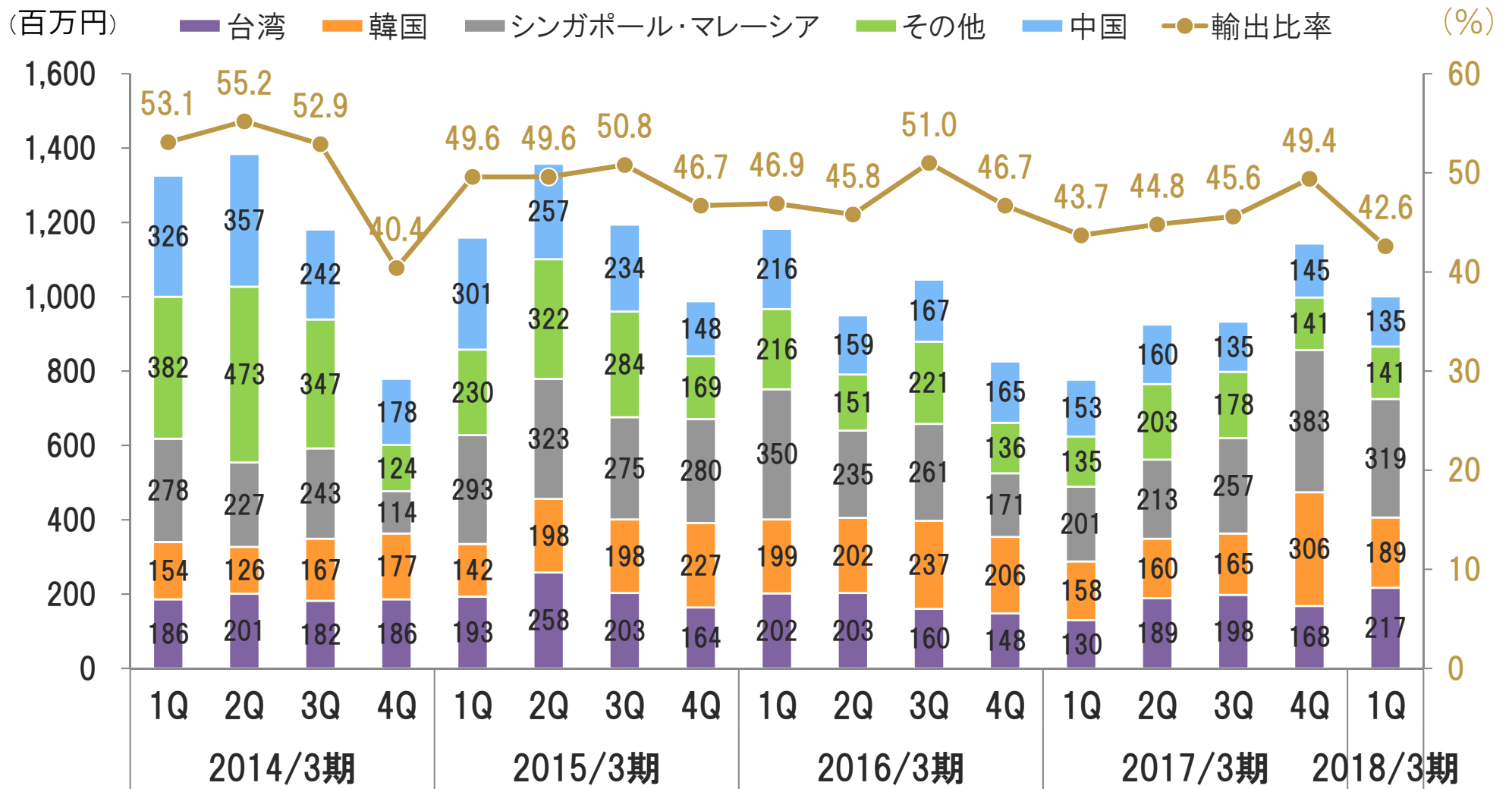
(百万円)

- プリント基板・半導体搭載基板用
- コネクター・マイクロスイッチ用
- リードフレーム用
- その他
- 営業利益

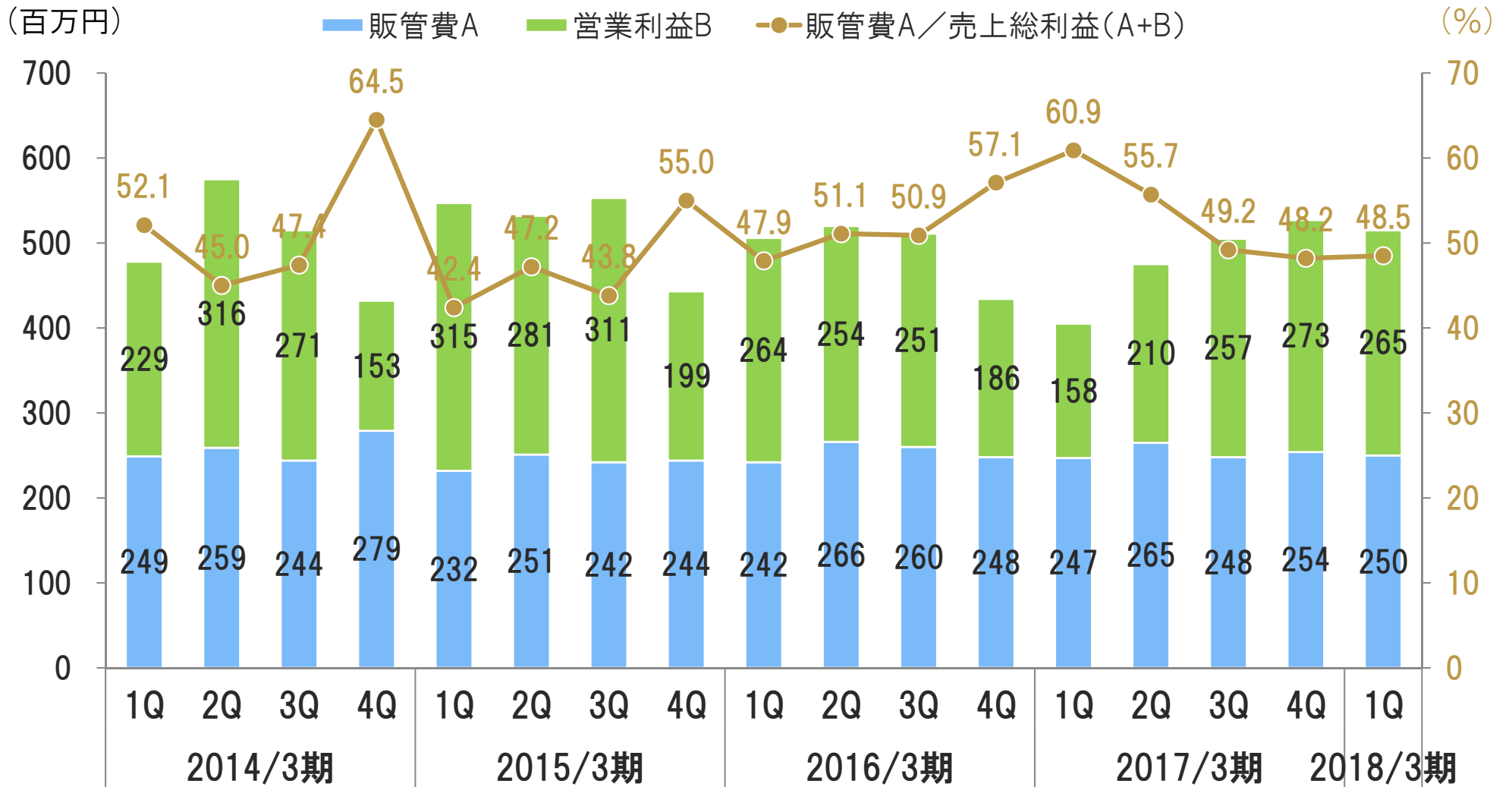
(百万円)



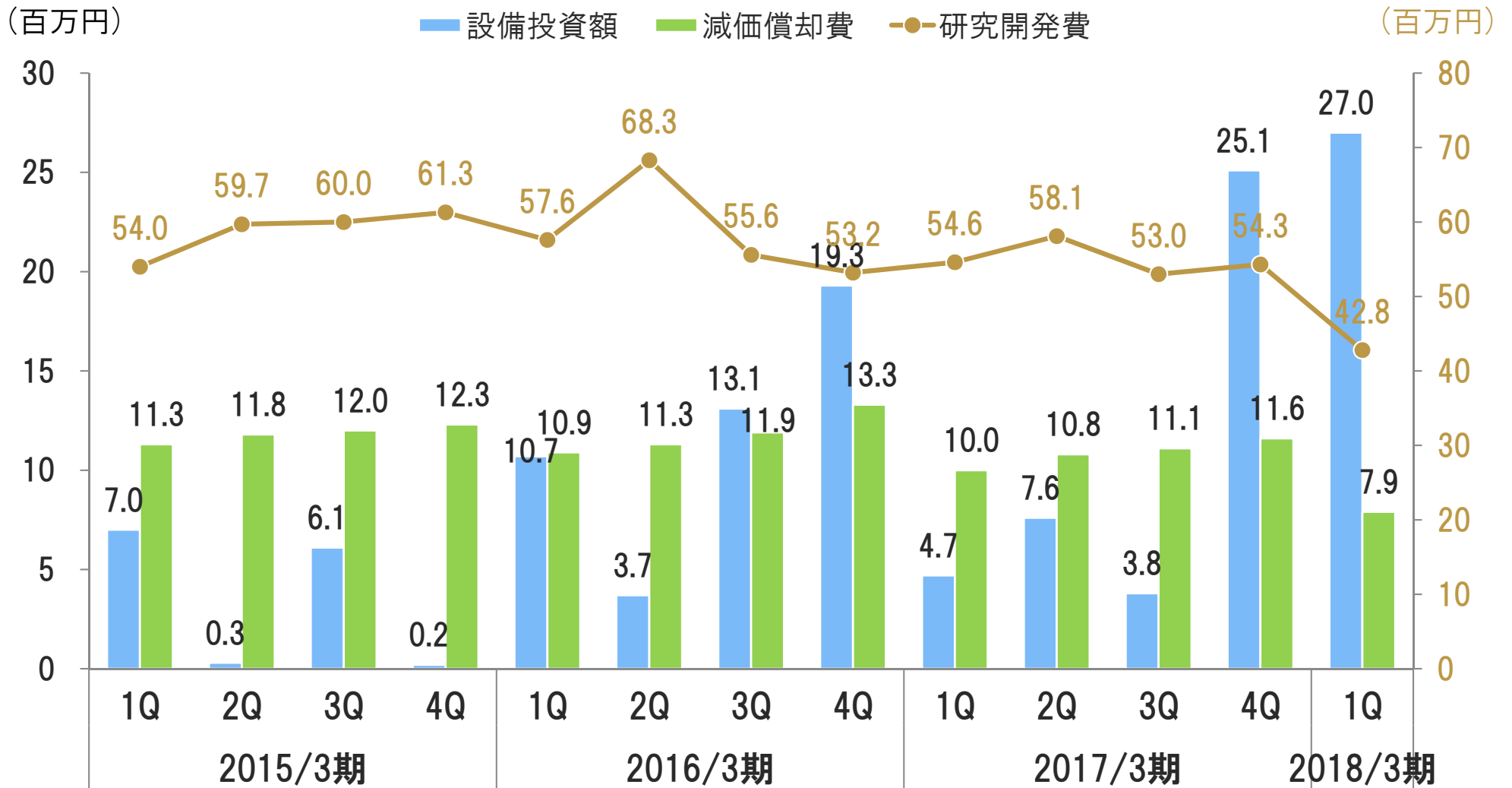
輸出地域別売上高の推移(四半期ベース)



販売管理費および営業利益の推移



設備投資額、減価償却費および研究開発費の推移



株主還元について

一株当たり配当金

(単位:円、%)

	通期	EPS ※	配当性向
2014/3期	8,000	114.80	69.5
2015/3期	80	131.87	60.7
2016/3期	80	121.31	65.9
2017/3期	80	124.44	64.3
2018/3期(予想)	80	127.08	63.0

※ 2014年4月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。
そのため、当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

製品ラインアップ ~電解純金めっき改良品を投入~

	めっき方式	用途	製品ラインアップ
電解	純金		① 粗面上でも均一な膜厚が得られる純金めっき ② 硬度の高い純金めっき
	硬質金 (金合金)		マイクロコネクタ用省金硬質金めっき オーロブライト BAR7
	電解Pd		PPF用薄膜パラジウムめっき パラブライト NANO2
無電解	置換金		低金濃度で使える置換金めっき IM-GOLD FG ダイレクト置換金めっき IM-GOLD PC
	還元金		亜硫酸金を使った薄膜還元金めっき HY-GOLD シアン化金を使った薄膜還元金めっき HY-GOLD CN
	還元Pd		ENEPIG用還元パラジウムめっき ネオパラブライト 2 ダイレクト還元パラジウムめっき ネオパラブライト DP
新分野	新分野		封孔処理剤 合金めっき 還元Snめっき センサー用めっき ビアフィルめっき



まとめ：開発型企业として新技術の開発を推進

- JPC固有技術であるProtecting Agent(※)の種類を増やし、新しい基板素材との組合せにより“新技術”を提案する。

※特定の金属に選択的に吸着し、電子を供与又は吸引する効果によって、めっき反応や皮膜物性をコントロールする一連の有機化合物

- 合金めっき、封孔処理剤、卑金属めっきなどの“新技術”から次世代の柱となる事業を育成することにより、スマートフォンへの依存度の高い企業体質から脱出する。

通期の見通し

(単位:百万円、%)

	2017/3期			2018/3期		
		構成比	前期比		構成比	前期比
売上高	8,229	100.0	△2.4	8,470	100.0	2.9
営業利益	900	10.9	△6.0	940	11.1	4.4
経常利益	1,002	12.2	△4.3	1,030	12.2	2.7
当期純利益	716	8.7	1.2	730	8.6	1.9

トピックス

- **電解純金めっき**・・・利益低迷の主因である純金めっきに膜厚の均一化、硬質純金の2製品を新展開
- **封孔処理剤**・・・顧客ライン評価にて一部進展あり、2018年3月期の利益貢献に期待
- **DIGプロセス(銅上ダイレクト金)**・・・フレキシブル基板市場を中心に拡販するも商業ベースには至らず
拡販アプローチを模索中
- **EPIG(銅上ダイレクトパラジウム/金)**・・・顧客ライン評価にて進展するも商業ベースには至らず
巨大なIoT市場に展開できるよう、技術・営業両面でフォロー中

いずれも業界動向や顧客ニーズに迅速に対応できるよう積極的に拡販活動をおこなっております。



注意事項・免責事項

当該資料で用いられている業績予想ならびに将来予測は、いずれも当社の事業に関連する業界の動向についての見通し、国内および諸外国の経済状況、ならびに為替レートの変動、その他の業績へ影響を与える要因について、2017年6月時点で入手可能な情報をもとにした予想を前提としています。

これらは、市況、競争状況、新製品およびサービスの導入およびその成否、ならびに情報通信関連産業の世界的な状況を含む多くの不確実な要因の影響を受けます。よって、実際の業績は配布資料および決算説明で用いる予想数値とは、大きく異なる場合があることをご了解いただきますようお願い致します。

この資料の著作権は日本高純度化学株式会社に帰属します。いかなる理由によっても、当社に許可なく資料を複製・配布することを禁じます。

お問い合わせ先

TEL. 03-3550-1048 FAX. 03-3550-1006

経営企画部

ir@netjpc.com <http://www.netjpc.com>